

大正十一年中解散シタル労働團體數ハ約二十八
ニシテ(支部ヲ含マズ)時ニ注目スベキハ大阪ニ於テ
ル労働組合同盟會ノ解体ナリトス。ソノ他
モノニアリテハ團體ノ組織變更寸ニ解リモノ
多ク全然消滅ニ歸シタルモノ比較的少ナリ。
而シテ労働組合同盟會解体ハ
八木信一(會長) 阪本孝三郎(労働組合同盟會
所屬大阪鉄道會
後藤田正毅(立憲労働)等ハ豫テ第五回國際勞
働總會労働者代表選舉ノ際ヨリ氣脈ヲ通シ

今後議會政策ニ依ル労働者解放運動ヲ主張
トシテ労働團體ノ提携ヲ試ムベク屢々意見
ノ交換ヲ為シ來リシカ偶々内閣ノ更迭アリ普
選ノ實現モ遠キニアラザルヲ看取シタルモノハ
如クハ木、阪本等中心トナリ在大阪労働團體ニ
シテ議會政策ニ依ラントスルモノヲ糾合シ一大
勢力ヲ作リテ労働者ノ政治的自覺ヲ喚起ス
ルト共ニ反面日本労働組合同盟ニ對抗スベシト